

講義内容の概要
(シラバス)

2019 (H31・R1) 年度

高知短期大学

2019年度開講科目一覧（社会科学科）

	授 業 科 目		期 間	単 位 数	専 任 教 員	非 常 勤 講 師		ペ ー ジ
						氏 名	所 属 等	
教 基 育 礎	入門に関する科目	情報処理 I	前期	2	細居 俊明			1
専 門 教 育	経済・経営系科目	現代資本主義論	前期	2	細居 俊明			2
	総合社会系科目	社会学 I	前期	2		池谷 江理子	高知工業高等専門学校（名誉教授）	3
	各系共通	キャリアデザイン	集中	2		池谷 江理子	高知工業高等専門学校（名誉教授）	4
		社会科学演習 II	前期	2		池谷 江理子	高知工業高等専門学校（名誉教授）	5

科目名	情報処理	単位数	2	期別	前期
科目コード	A0050	担当教員	細居 俊明	所属	高知短期大学
連絡先	電話				
	E-mail				

授業概要 (テーマ等)	レポートをまとめたり、報告をしたりする際に、パソコンとインターネットを使うことを学びます。実際にテーマを決めて、使う中で、インターネットの利用、ワード、エクセル、パワーポイントといったソフトの利用に慣れるとともに技術の向上を図ります。
授業の進め方	情報演習室または、普通の教室でパソコンを持ち込んで実習を主に進めていきます。正規在学生のニーズや状況に合わせて進めます。
達成目標	(1) パソコンや周辺機器に慣れる (2) インターネット・リテラシー：活用法や注意すべき点 (3) ワードで基本的な文章を作成できるようになる (4) パワーポイントでプレゼンテーションができるようになる
授業計画 (講義の具体的内容)	第1～5回 ワードを使ったレポートのまとめ方、小論の作り方 第6～7回 インターネット・リテラシー 第8～10回 エクセルの使い方 第11～15回 パワーポイントの使い方とプレゼンテーション
履修上の注意	
教科書	
参考書	
成績評価方法	授業への参加姿勢に加え、レポート提出とプレゼンテーションによって総合的に評価します。

科目名	現代資本主義論	単位数	2	期別	前期
科目コード	F0496	担当教員	細居 俊明	所属	
連絡先	電話				
	E-mail				

授業概要 (テーマ等)	資本主義は18世紀に誕生した社会システムですが、大きく自らの姿を変えてきています。この講義ではその変化を示すいくつかの特徴を取り上げて、その意味を考えていきます。そのことによって資本主義とは何かをより深く考えることにもなります。特徴的な変化を対となる言葉で示せば、統合と分裂、産業と金融肥大化、国家と企業、人間とAI（ロボット）、高齢化社会と持続可能性、人間と自然です。すべてを取り上げることは出来ませんが、じっくり考えいきます。
授業の進め方	テーマに関連する映像と文献を題材に、それ自体の理解を深めるとともに、問題をどうとらえていくか、検討していきます。特に映像を活用していくこととなります。なお授業は在学生のニーズや状況に合わせて進めます。
達成目標	(1)現代資本主義が抱えている問題について知る (2)現代資本主義の特徴について考えてみる (3)現代資本主義の行く末とわたしたちの立ち位置について考える (4)資本主義はわたしたちにとって持つ意味を考える
授業計画 (講義の具体的内容)	およその範囲を考えると、次のように進めることを考えていますが、受講生のニーズと条件に応じて変更することもあります。 第1～5回 統合を分裂をいくつかトピックスから考える：貿易戦争、外国人排斥 第6～10回 マネーワールド 第11～15回 資本主義と人間の欲望
履修上の注意	
教科書	
参考書	
成績評価方法	授業における参加姿勢とレポートなどによって総合的に評価します

科目名	社会学	単位数	2	期別	前期
科目コード	G0879	担当教員	池谷 江理子	所属	高知短期大学元特任教授
連絡先	電話				
	E-mail				

授業概要 (テーマ等)	グローバル化しつつある現代社会における「産業・労働とジェンダー」に関し、基礎的な考え方を学び、問題状況が噴出する現代社会を理解する有効な視点を獲得し、社会への理解が深まることを目的とする。
授業の進め方	講義と書籍・資料の輪読、討論により授業を進めていきます。必要に応じパワーポイントや映像資料を用います。 前半は産業・労働社会に関する理論、後半は現代日本社会に関する産業・労働社会学、ジェンダー研究の概要を紹介する計画ですが、受講生の希望や社会情勢等により、内容や進め方を変更する可能性があります。
達成目標	(1) 産業・労働社会学、ジェンダー研究の基礎概念を理解する (2) 現代社会を批判的に見つめられるようになる。 (3) 社会的概念を応用して身の回りの「社会」を理解できるようになる。 (4) 社会の一員として必要とされる社会への理解と批判精神を身につけることができる。
授業計画 (講義の具体的な内容)	第1回 オリエンテーション 第2回 市場の役割 第3回 疎外 第4回 社会分業 第5回 職業倫理 第6回 脱工業社会 第7回 労働市場論 第8回 日本の経営と雇用、賃金 第9回 労使関係と労働組合 第10回 企業倫理と企業の社会的責任 第11回 雇用とジェンダー、性別役割分業 第12回 性別職域分離と性別賃金格差 第13回 少子高齢社会とケアワーク 第14回 グローバル化と移民労働 第15回 まとめ
履修上の注意	1、レジュメや配布資料をファイリングし、予復習、試験、レポートに備えること。 2、日頃報道されるニュースや新聞記事には授業内容と関連していることが多いため、積極的にニュースソースにアクセスし、切り抜きやメモなどにまとめ視野を広げてほしい。
教科書	レジュメを用意する。受講生との相談により、教科書を指定する可能性もある。
参考書	『産業・労働社会学』小川信一・山田信行・金井美奈子他共著、有斐閣(2015年)、『よくわかる産業社会学』上林千恵子編著、ミネルヴァ書房(2012年)、『改訂版新しい産業社会学』犬塚先編、有斐閣(2003年)他、授業中に適宜紹介する。
成績評価方法	期末試験あるいはレポート(70%)、小課題(10%)、講義への参加(出席、ワークシート、討論他:20%)などから総合的に評価する。

科目名	キャリアデザイン	単位数	2	期別	集中
科目コード	H1010	担当教員	池谷 江理子	所属	高知短期大学元特任教授
連絡先	電話				
	E-mail				

授業概要 (テーマ等)	自分らしい生き方、働くことの意味を考え、自己への気付きを通して主体的なキャリア形成を図れるよう学びを深めていきます。生涯に複数回、転職することも一般的になってきました。就活や社会に出てから、適切な職業に就きキャリアを築くための自己理解・職業選択や履歴書の書き方、キャリアデザイン、転職の戦略などについて共に考えながら実践的な指導をしていきます。
授業の進め方	講義と演習形式の両方で進めます。自らキャリアを選択し形成するために、個々のキャリアを取り巻く課題の解決に向けて必要な知識・情報を学び、提供するとともに、ワークシート、ディスカッションを利用して展開します。
達成目標	(1) 働くことの意味や価値を理解する。 (2) 職業や労働環境について理解する。 (3) 自己理解を深めキャリアデザインのための機会を提供し、就職力を高め主体的にキャリアを形成する力を育成する。 (4) 転職を乗り越えるためのキャリア戦略を理解する。 (5) 労働の今日的課題を認識し、対処できる基礎力を養う。
授業計画 (講義の具体的な内容)	第1回 オリエンテーション、これからの働き方 第2回 職業の選択 第3回 就職支援・相談体制及び実行計画の立案 第4回 自己分析 第5回 省庁・業界研究 第6回 職種・企業研究 第7回 履歴書の書き方、作成と指導 第8回 省庁・企業説明会、先輩の話 第9回 試験・面接とその対策 第10回 模擬面接 第11回 キャリアのデザインとライフサイクル 第12回 転職を乗り越えるためのキャリア戦略 第13回 均等待遇とダイバーシティ 第14回 労働環境の課題と対応策 第15回 総まとめ ほぼ以上のように考えていますが、受講生の希望、就活状況等により、内容や順序等の変更がなされることがあります。
履修上の注意	就職希望者およびキャリアデザイン、生涯キャリア開発について興味のある方を対象とします。
教科書	必要に応じレジュメ、資料を配布します。
参考書	授業中に適宜、紹介します。『4訂版 キャリアデザイン概論』本間啓二他、雇用問題研究会(2016年)、『働く女子の運命』濱口桂一郎、文芸春秋(2015年)他。
成績評価方法	授業への取り組み(質疑、発表、意見、ワークシート作成、課題等)(50%)、期末試験あるいはレポート(50%)などから総合的に評価する。 (

科目名	社会科学演習	単位数	2	期別	前期
科目コード	H1022	担当教員	池谷 江理子	所属	高知短期大学元特任教授
連絡先	電話				
	E-mail				

授業概要 (テーマ等)	この授業は大学での学び、特に社会科学の学びにとって必要な読み、書き、話す能力を高めることを目的に開講する演習形式の授業です。 授業内容、受講申請方法については最初のゼミで補足的に説明します。
授業の進め方	在学生全員の受講を想定し、少人数の演習形式で進めます。 開講時間なども受講生にあわせて調整することもあります。
達成目標	文献をしっかり読み取る力を向上させる。 まとめたものを文章化する力を向上させる。 意見を発表し、意見を交流する力を向上させる。
授業計画 (講義の具体的内容)	(変更の可能性があります) 現代社会を考えるために役立つ文献を取り上げ、 1つひとつの文献について以下の作業のいくつかを進めていく。 文献を読みこなす それについての意見や感想をまとめる 文献の内容とそれに対する意見感想を発表する(小論文作成) 文献の検討結果をレジュメにする 文献の検討結果を文章化する 取り上げられているテーマでの意見交換を行う
履修上の注意	
教科書	演習で適宜指示する。
参考書	演習で適宜指示する。
成績評価方法	演習での作業や参加姿勢と小テストないし小論文によって総合評価します。